

ふれあいネットワーク

No.110

しあわせ

2019
12
DECEMBER

編集・発行 一宮町社会福祉協議会

発行回数 年3回



(災害ボランティアセンター立ち上げ協力)

台風・暴風・大雨による災害
-困っている人への手伝い
助け合い・支え合う-

住所 一宮町一宮1865 電話 0475-42-3424
E-Mail ichinomiya-shakyo@topaz.ocn.ne.jp

ボランティア福祉フェスティバル

多くの人と言葉を通わせ 交流の輪を広げ…

令和元年10月20日、一宮町保健センター・保健センター前駐車場、中央公民館を会場に第6回一宮町ボランティア福祉フェスティバルが開催されました。今年も、福祉施設ほか合わせて31団体の皆さんと、一宮中学校の学生ボランティアの協力により開催することができました。当日は、天候にも恵まれ多くの町民の皆様にご来場いただきました。

幅広い年齢の方と触れ合って

10月20日(日)に「第6回ボランティア福祉フェスティバル」が行われました。

一宮小学校の運動会が順延となり、日にちが重なっていたため子どもの来場が少なめになってしまったように感じましたが、地域の方々の来場も多く天候にも恵まれてとても賑やかなイベントとなりました。

多数の団体の出店があり、なかでも体験ブースには、パラリンピック競技のひとつ「ボツ



たこやき焼けたかな

り活気も出ました。出店者、来場者、ボランティアと多くの異年齢の方と触れ合うことができる場となり、地域の活性化にもつながるイベントになったと思います。

御園生千尋

チャ」があり、年齢の方から幼児まで体験したりと幅広い年齢の方が楽しんでいる姿が素敵でした。外ではステージでの披露、飲食や物販など販売などたくさん出店がありました。当日は中学生のボランティアスタッフの参加もありました。



近いのどっち？



とん汁美味しいね

ふれあい 昼食会

令和元年10月24日、一宮町中央公民館にて第34回ふれあい昼食会が開催され、今年度は55名の75歳以上のお一人暮らしの方に参加を頂きました。当日は90名を超えるボランティアが会場設営、送迎、調理、演芸の披露を行いました。お招きした参加者の皆様とボランティアが共に楽しいひとときを過ごしました。

招く方も、招かれる方の 気持ちを想って

今年の昼食会参加者は去年より16名多い55名。一方、お迎えするボランティアは総勢90名を超え、送迎から会場設営や接待まで特別な指示が無くてもア・ウンの呼吸でやれてしまうのは流石というしかありません。

招かれるのは75歳以上の一人暮らしのお年寄りですが、招く方も多くの方が私のような高齢者。だから接待の仕方にも受け手の気持ちを想った細かい気配りを感じさせられる場面があります。例えば、トイ

レの付き添いにも必要以上の「親切」は控えられ静かに見守っている。高齢だからこそ高齢者の気持ちも分かるというものでしょう。



なごやかなひととき



懐かしいメロディーにうっとり

最後にお弁当のこと。これは毎回思うことですが、絶品です。「これが楽しみで手伝ってるのよ」という人が私の周りには少なくとも5人いましたよ(笑)。ごちそうさまでした。

納村万智栄



これが楽しみのお弁当

西部地区敬老のつどいは10月31日(木)一宮館で開催しました。当日は晴天にも恵まれました。参加者、スタッフ合計100人弱で晴れやかな一日を過ごしました。

この集まりを通して 地域の協力の輪が作れば

午前は藤原國次さんによる脳トレ、介護予防推進員のサーフィン音頭、中村雅紀さんによる腹話術の披露。前回から名札をお願いし、食事は区ごとに座って歓談していただきました。午後はフラダンス、銭太鼓

上総十二社祭り歌、カラオケで盛り上がりました。最後に河野敏夫さんの音頭で全員「ふるさと」を合唱しました。



名調子

一日赤十字

10月20日、お子さまから高齢者まで、幅広い年齢層が集まる福祉フェスティバルと、同時に災害時の非常食「ハイゼックス」作りと、風呂敷二枚を使用したリュックの作成を、指導しました。又、公



ハイゼックス出来たよ



危険！発見！

民館の大会議室にて、小学生を対象に、災害まちがいさがしを開催しましたが、生憎、小学校の運動会と重なり参加者が少なかつたと思います。

これからも、防災・減災の対応に取り組んでまいります。

西部地区は9月10月の台風で多くが2度停電になりました。今回はいずれも日曜日にかけてでしたが、もし若い人が不在時でも地域で協力の輪ができればと思っております。お元気で次回も多くの方の参加をお待ちしております。

伊丹泰男



はい始めます 100引く3は？



作業の説明…

令和元年11月7日・8日、長生郡市障害者福祉会役員県外視察研修が行われました。各市町村福祉会役員33名が、障害者支援施設「山梨県立あさひワークホーム」を視察しました。

山梨県立あさひワークホームを視察研修後、障害者の集団生活、作業現状を、笑顔とともに夢を自立につながる就労を視察し私の心に響きました。晴天の中、バスは紅葉の絶景、山頂に雪



ハーブの香りにつつまれて

を被った富士山・南アルプス・八ヶ岳を見ながら武田神社を参拝し石和温泉郷へ。

ホテルの窓越しに見る夜景も素晴らしい、温泉もゆつたりと入れました。二日目も晴天で車窓から見る山々は素晴らしい紅葉です。信玄餅、ワイン工場などを見学、ハーブ庭園では、案内人の話術に…。福祉会の研修は、親睦を兼ねた良い旅になりました。

中村照夫



このスポーツはみんなが楽しめますよ(ポッチャ)

いつおこるか分からない災害に備え、災害に対する知識を深め、防災・減災について再認識することを目的に市原市に移転された千葉県消防学校にて防災研修センターの機能や取り組みを学んで参りました。

津波の高さ目の当たりに ただ立ちすくむ

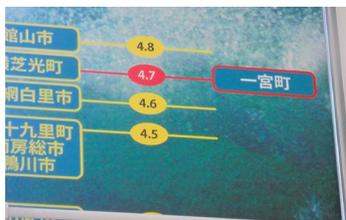
一宮町社会福祉協議会（白井会長）は、去る8月5日、関係各種団体の役員22名により令和元年度研修会を実施しました。

今年5月に、千葉県南部を震源地とした地震が発生し、長南町で震度5弱、当三宮町では震度4を観測しました。

いつ起こるかもしれない地震災害に備え、災害に対する知識を高め、減災・防災について再認識することを目的として企画されました。

視察地は千葉県消防学校（市原市菊間）およびライオン千葉工場（同八幡海岸通り）等でした。

消防学校は、この春に当所在地に移転し、4月1日から開校しています。東日本大震災時に発生、記録された各地の津波の高さを目の当たりにすると、それは想像を



3.11の津波の高さ



昔の消防車

絶し、立ちすくむ以外にはありませんでした。災害発生時以前の関係機関との協力、できる備えが必要であると参加者全員が確認した研修会でした。

片岡誠

台風15号災害義援金・台風19号災害義援金へ ご協力ありがとうございました！

募金総額 35,106円

うち、令和元年台風15号千葉県災害義援金へ 17,553円
令和元年台風19号災害義援金へ 17,553円

令和元年台風15号、台風19号及び10月24日からの大雨を伴う災害により、千葉県をはじめ、各地に甚大な被害が生じました。

一宮町社会福祉協議会では第6回ボランティア福祉フェスティバル、農林商工祭にて台風15号災害義援金・台風19号災害義援金募金箱を設置し募金活動を行い、全額を日本赤十字社千葉県支部へ送金させていただきました。

日本赤十字社千葉県支部では、引き続き災害義援金を募集しています。

「令和元年台風15号千葉県災害義援金」

期 間：令和元年12月30日まで
振込先：千葉銀行 本店営業部 普通預金 口座番号 4098126
日本赤十字社千葉県支部 支部長 森田健作

「令和元年台風19号災害義援金」

期 間：令和元年12月30日まで
振込先：千葉銀行 本店営業部 普通預金 口座番号 4100422
日本赤十字社千葉県支部 支部長 森田健作

※金融機関によっては、振込手数料が別途かかる場合があります。
※受領証の発行をご希望の場合は、日本赤十字社千葉県支部へご連絡ください。
(連絡先：043-241-7531)



つくも会より、第6回ボランティア福祉フェスティバルでのバザー売上金64,250円を歳末助け合い募金へご寄付をいただきました。

ご寄付をありがとうございます

匿名の方 100,000円
みたかずよ様 3,000円
(演歌歌手)

第69回千葉県社会福祉大会にて表彰された皆様です

社会福祉施設・団体関係職員功労者

氏名	所属
吉野知子様	愛光保育園
小関綾様	いちのみや保育所

編集後記

この秋は大変でした。台風15号・19号。そしてその後の一ヶ月分の雨が半日で降るといふ大雨。被害にあわれた皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

幸い一宮町はテレビに写った様な事にはなりませんでしたが、近隣の市町村の事を考えると良かったと喜んでばかりも居られません。お身内で被害にあわれた方も沢山いらっしゃるでしょう。従来の感覚以上に警戒することの難しさを痛感しながら迎えるこの冬、命にかかわる被害がない様祈るばかりです。

社協の職員は鋸南町を始めとした鴨川市、館山市、茂原市、長柄町等へ災害ボランティアセンター運営支援に協力しましたし、私達の仲間も、行事でかけて電車がストップで帰れなかった人、何度も避難所開設で炊き出しがあった日赤奉仕団の方々、本当にご苦労様でした。

近藤美保子